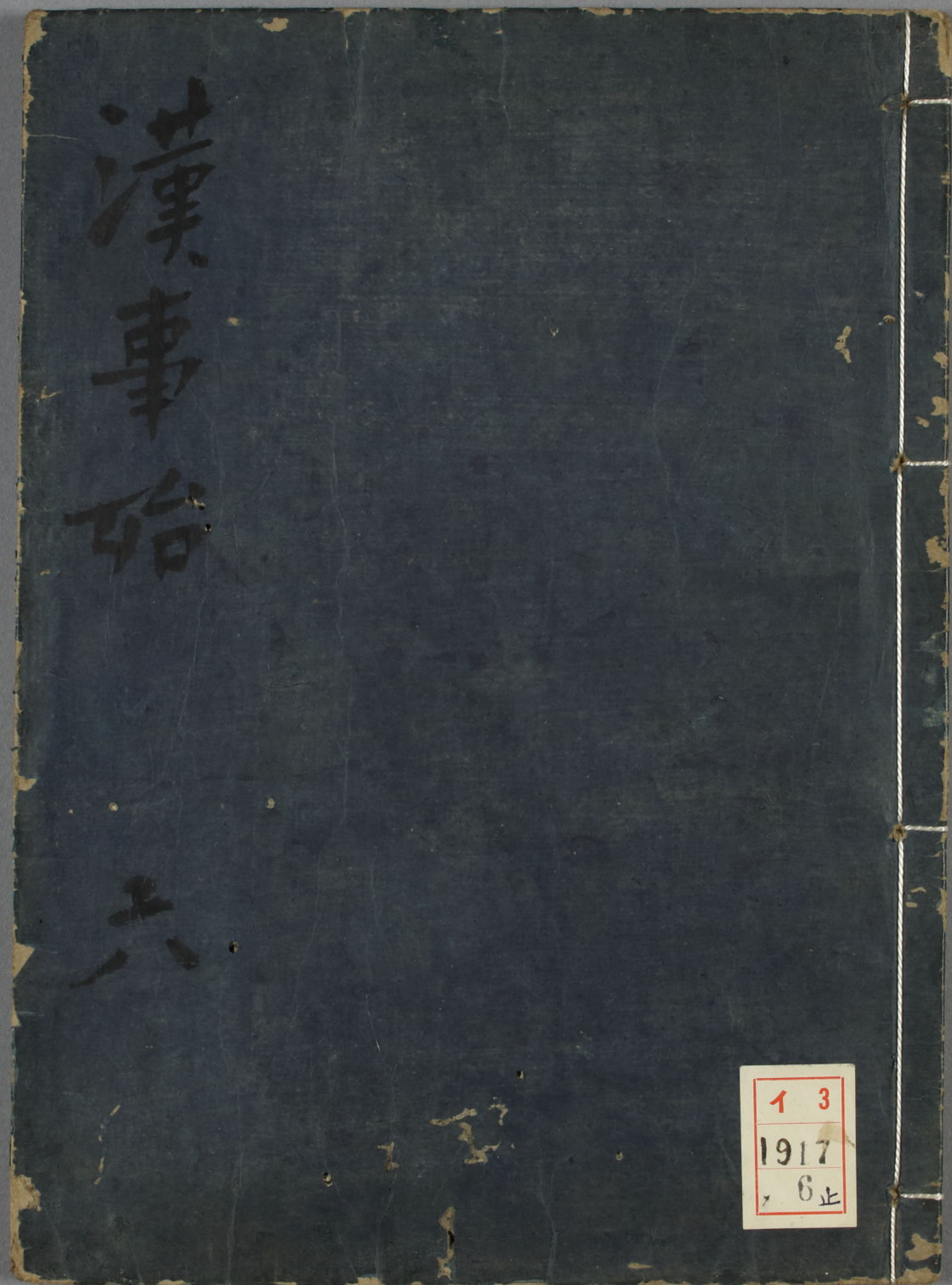




1 3
1917
止 6



門イ3
1917
卷5

中華事始卷之六目錄

動植門第十六

鳥獸

一 龜魚二

草木三

五穀四

稻

胡麻六

波稜菜七

胡葵八

大蒜

牡丹十

安石榴十一

葡萄十二

橘

胡桃十四

木綿十八

佛家門第十七

佛入中國

十六 僧十七

尼十八

僧十九

尼寺

二十 佛像二十一

佛塔二十二

佛經二十三

昭和九年
五月二日
小田幸吉
吉田友次
即生安路

卅八

卅四

三十

二十一

1

1

九
九

ラシ

張

7
5

乙丑

テヲ
色

月陽雜俎。淮南子に記せし。多獸蟲魚
 の始。煉は笑べ。多々甚妖あり。と。
 カツ。ブツリ。多てお理より。と。妖は也。凡天地の始。人
 と物とあるは氣化也。一より二の氣化してハ。
 多々。形と。て交と。形化と。氣化。形化の。形化盛
 かし。て。氣化が。と。多。多獸も。氣化。
 そ。め。ら。形。化。の。と。お。は。の。と。繁殖せり。
 多。と。人。今。平。地。は。大。が。海。池。化。り。と。中
 は。魚。虫。の。形。と。入。海。を。う。と。禁。せん。に

クサキ
草木
三

歴^{レキ}年^{ナン}記^キよ云^{クモ}盤^{バン}古^コ如^ニ志^キ身^ミ死^シして後^{ノチ}毛^{モウ}髮^{ハツ}學^{ガク}

[illegible]

五穀ゴコク
四

五
稻

胡麻
六

漢張騫^{カンノチウケン}始^{ハジメ}く大宛國^{タイエンコク}より^{タイ}えん^{エニ}を^{コク}ゆ^クり^ク。其

波稜菜 ハレンサウ 七

唐會要タウカイヨウ云云尼婆羅ニハラより波稜ハレンサウを献タテマツる

胡荽 コスイ 八

博物志ハクブツシ云云張騫チヤウケン大夏タイカより使ツカヒして胡荽コスイを献タテマツる

大蒜 タイサン 九

切款セツイン云云張騫チヤウケン西域セイキより使ツカヒして大蒜タイサンを献タテマツる

論カ云云漢カン乃時より始ハジメくこれあり

牡丹 ホタン 十

隋煬帝ズイヤウテイれ世に始ハジメて牡丹ホタンを傳ツタへ唐タウ乃代ヨに

本草ホウソウ云云開元カイゲンの時唐タウ玄宗キウチウの宮中キウチュウ及ミナ民カンる

競キンてこれと尚タツト今イマも承和シヤウカ極キョクてぬ

安石榴 ザクロ 十一

博物志ハクブツシ云云張騫チヤウケン西域セイキより使ツカヒして安石榴ザクロを

傳ツタへ

葡萄 ブドウ 十二

是又タイカ大夏タイカより始ハジメて石柁サウロと云イハれ

來キタる漢カン云西域セイキ傳ツタへ漢使カンシの時葡萄ブドウ有モクる

乃タチ將來キタれと云イハれ是也コノヤウ西陽セイヤウ雜俎ザツ云云又

樓
夕千八十
十二

胡桃クルミ 十匹

モ
メ
ニ
十
又

通^ツ鑑^{ガン}此^キ果^リ武^ウ帝^{テイ}求^モ綿^{メン}皂^{サウ}帳^{チヤウ}乃^{ノウ}下^カ。史^シ焜^{セウ}ガ

二月と云く將成タカ下タカ。すでタカぬタカせタカて一月よ

ニ多クハク分キル 尊海。秋よりキタナ 英ニヤウ花をセド。実ミ

[illegible]

生イデく 綿ワタみ ぬコト。 ぬれを ぬく 事 是バ 梁リヤウみ 附

とてに ^エ ^メ ^ニ 糸綿あり。丘文莊 ^{キウブンサウ} が ^{エツ} 既 ^{メニ} 糸 ^{クニ} 綿 ^ニ むら。え ^エ ^ニ

乃 中 必 入 ^{イル} 以 於 以 史 ^シ 婦 ^{セウ} 乃 収 ^{コウ} と

考
志
卷
之
一
楊
升
席
文
集

佛入中國 十六

新時ハ。則漢成帝。哀帝の時まで。佛經あり
 る。然る。漢武皇帝と云ふ。は昆邪王。休屠
 多氏殺して。その血を以て踏む。金人の神と
 云ふ。武帝これと其衆宮より。金人をもて
 文餘。その糸は牛羊と用ひ。ど。き。も。火焼ぬ
 礼と。武帝の。その俗より。び。又元封二年
 昆明池と云ふ。時。底より五色石あり。出
 ける。帝これを東方朔と云ふ。東の朔が云。
 西域の人。は。これ。胡人なり。

あり。これよりして是より武帝の時
 とては佛は中必まへる。今も今も
 佛は中必まへる。明帝より始る。と
 して武帝よりして。中必まへる。野客叢
 書
 聴雨記。漢より。世も佛漢明帝の時。佛は始て
 中必まへる。化人。列子。西極の化人。あ
 り。来り。穆王。これよりして。中天。と
 あり。と。千仞。より。秦の時。及て。利
 房。亦。始。まへる。吳。な。り。と。て。

因。金人。より。戸を破て出。又霍去病。馬者
 山。より。時。休屠王。天。と。金人。と。ゆ。り。
 周。秦。西漢。佛。より。と。

二書。より。佛。は。始。る。と。て。

漢てそ^{ミチ}を求め。そ^{ミチ}を^{タイテイキヨフ}大抵^{タイテイキヨフ}虚^{タイテイキヨフ}無^{タイテイキヨフ}と^{タイテイキヨフ}い^{タイテイキヨフ}て^{タイテイキヨフ}宗^{タイテイキヨフ}と^{タイテイキヨフ}い^{タイテイキヨフ}て^{タイテイキヨフ}。意^{タイテイキヨフ}想^{タイテイキヨフ}
 不^フ教^フと^フい^フて^フ以^フ為^フ人^フ死^フて^フ精^フ神^フ滅^フせ^フん。
 臨^{リン}と^{リン}又^{リン}死^{リン}と^{リン}交^{リン}生^{リン}時^{リン}行^{リン}ふ^{リン}不^{リン}死^{リン}者^{リン}必^{リン}報^{リン}無^{リン}
 わり。あ^{セイリン}其^{セイリン}精^{セイリン}神^{セイリン}を^{セイリン}快^{セイリン}煉^{セイリン}て^{セイリン}以^{セイリン}て^{セイリン}佛^{セイリン}と^{セイリン}い^{セイリン}ふ^{セイリン}。
 又^{コト}も^{コト}り^{コト}て^{コト}以^{コト}て^{コト}其^{コト}の^{コト}人^{コト}て^{コト}宏^{コト}潤^{コト}勝^{コト}大^{コト}の^{コト}
 云^{コト}を^{コト}な^{コト}して^{コト}愚^{コト}俗^{コト}を^{コト}勸^{コト}誘^{コト}く^{コト}。そ^{コト}の^{コト}人^{コト}精^{コト}神^{コト}を^{コト}
 も^{コト}の^{コト}を^{コト}名^{コト}付^{コト}て^{コト}沙^{コト}の^{コト}と^{コト}い^{コト}ふ^{コト}。こ^{コト}の^{コト}人^{コト}に^{コト}お^{コト}め^{コト}る^{コト}中^{コト}に^{コト}
 婦^{コト}と^{コト}も^{コト}佛^{コト}と^{コト}い^{コト}て^{コト}其^{コト}形^{コト}像^{コト}を^{コト}圖^{コト}す^{コト}。王^{コト}と^{コト}い^{コト}ふ^{コト}人^{コト}

の中^{コト}に^{コト}い^{コト}ふ^{コト}。楚^{コト}王^{コト}英^{コト}と^{コト}い^{コト}ふ^{コト}も^{コト}先^{コト}と^{コト}い^{コト}ふ^{コト}れ^{コト}と^{コト}い^{コト}ふ^{コト}。
 又^{コト}と^{コト}い^{コト}ふ^{コト}。楚^{コト}王^{コト}英^{コト}と^{コト}い^{コト}ふ^{コト}も^{コト}先^{コト}と^{コト}い^{コト}ふ^{コト}れ^{コト}と^{コト}い^{コト}ふ^{コト}。
 佛^{コト}教^{コト}中^{コト}に^{コト}い^{コト}ふ^{コト}。入^{コト}乃^{コト}始^{コト}也^{コト}。又^{コト}は^{コト}屈^{コト}氏^{コト}の^{コト}所^{コト}と^{コト}い^{コト}ふ^{コト}。
 乃^{コト}と^{コト}い^{コト}ふ^{コト}。大^{コト}乱^{コト}れ^{コト}る^{コト}なり。こ^{コト}の^{コト}代^{コト}に^{コト}王^{コト}の^{コト}世^{コト}
 に^{コト}あ^{コト}る^{コト}。必^{コト}殊^{コト}と^{コト}い^{コト}ふ^{コト}。教^{コト}と^{コト}い^{コト}ふ^{コト}。そ^{コト}の^{コト}人^{コト}なり。
 帝^{コト}人^{コト}の^{コト}子^{コト}と^{コト}い^{コト}ふ^{コト}。て^{コト}又^{コト}と^{コト}い^{コト}ふ^{コト}。そ^{コト}の^{コト}人^{コト}教^{コト}と^{コト}い^{コト}ふ^{コト}。
 君^{コト}乃^{コト}始^{コト}と^{コト}い^{コト}ふ^{コト}。居^{コト}て^{コト}不^{コト}あ^{コト}の^{コト}所^{コト}と^{コト}い^{コト}ふ^{コト}。中^{コト}に^{コト}い^{コト}ふ^{コト}。
 して^{コト}お^{コト}の^{コト}人^{コト}と^{コト}い^{コト}ふ^{コト}。こ^{コト}の^{コト}大^{コト}と^{コト}い^{コト}ふ^{コト}。
 因^{コト}て^{コト}以^{コト}て^{コト}中^{コト}に^{コト}い^{コト}ふ^{コト}。年^{コト}と^{コト}い^{コト}ふ^{コト}。乃^{コト}と^{コト}い^{コト}ふ^{コト}。

びくく金銀を抛ち。身と替へし。又
 ふく佛は海依。胡書を伝ふ。又
 法華学を造る。た。何れ利益もれ。却て
 運長運子め。た。下と頌ら。造。終。は。臺。城
 よ。わ。こ。め。造。死。ね。け。時。武。帝。の。子。た
 に。大。公。は。主。る。を。あ。し。と。し。も。執。れ。能。と
 助。れ。る。の。み。し。と。後。子。孫。衰。弱。な。く。教。を。造
 て。悉。く。收。果。ぬ。南。北。朝。の。魏。宣。武。帝。と。う。く。仏
 氏。は。海。依。し。永。平。二。年。は。莫。大。の。金。銀。を。費

一。天下ミナカ民力ミンリキを盡ツクす。永エイぬ軍居イクるといふ。
 大才ダイサイ氏シはなり。帝テイはづつと佛フツとを憐カウ後ゴせし
 就テイ帝テイ王ワウ乃ノ仏フツとを憐カウせし。佛フツとを憐カウ後ゴせし。
 や。この時の賢ケン臣シン裴ハイ延エン儒ジュといひ。大才ダイサイ氏シは
 聖セイ賢ケンなるハエと及キつた。漢カン光クワウ武ブ帝テイ。魏グイ武ブ帝テイ。
 など。皆グ軍ジュン中チュウみても。又ブ学カクとすてらるる。
 佛フツとある。改テ正シュウし。人ジンを改キ服フツし。安アンを安カンし。
 略リョクて天下テンカを治エむ。子孫シソンせく天下テンカなり。云クニ
 せり。されハ今イマく佛フツとを憐カウせし。

又傷房ハ廣さ子るなり。古塔たよ老く
 キンギンギヨク
 金銀珠玉はらりる。錦繡をうけたり。そ
 ビレイ
 多麗かほり。こ下れ壯觀とさへめ。る人
 シンモク
 公同と誇せり。すく佛法の中へ入る後
 としてより。この。傷徒れ多く。佛の
 スキ
 あり。い時よ。るハナリ。とわ。ね。こ
 センブテイ
 大宣武帝ハ永明と造り。隆光と造る。
 カサ
 佛を傳せ。も胡大后ハ永寧を造る
 フクホサ
 造。一。後報ハかくして。十八九年れる。

魏帝肅宗ハ胡太后ハ其めよ毒害せ。と
 テイ
 て死。も。後乃王も遂臣のそめよ毒
 ガイ
 害せ。とね。又その次の細まハ。その
 エイ
 榮がそめハ何ハ。死。かの今。双の
 タイ
 又ち大塔と造。も。胡太后も。たの
 エイ
 朱榮がそめハ何ハ。死。も。佛と
 タイ
 多。顔ハ。死。大塔と造り。も。佛
 セツ
 後。造。も。死。教子男ハ。佛。死。後
 コリ
 一のた。死。佛の死。て。女。死。

六年乃有^{キミ}。て。そ^{セツガイ}。害^{ホレ}。ひて^{ホレ}。亡^{ホレ}。ら^{ホレ}。ふ。天下^{ホレ}。も^{ホレ}。あ^{ホレ}。る。人^{ホレ}。の^{ホレ}。あ^{ホレ}。る。如^{ホレ}。
 く^{ホレ}。あ^{ホレ}。る。は^{ホレ}。り^{ホレ}。い^{ホレ}。は^{ホレ}。あ^{ホレ}。る。一^{ホレ}。か^{ホレ}。た^{ホレ}。り^{ホレ}。あ^{ホレ}。る。
 や。又^{ホレ}。唐^{ホレ}。の^{ホレ}。代^{ホレ}。の^{ホレ}。一^{ホレ}。り。憲^{ホレ}。宗^{ホレ}。の^{ホレ}。時^{ホレ}。え^{ホレ}。れ^{ホレ}。十^{ホレ}。二^{ホレ}。
 年^{ホレ}。の^{ホレ}。法^{ホレ}。作^{ホレ}。た^{ホレ}。り^{ホレ}。い^{ホレ}。げ^{ホレ}。り^{ホレ}。ハ。周^{ホレ}。勃^{ホレ}。と^{ホレ}。あ^{ホレ}。る。
 法^{ホレ}。の^{ホレ}。ち^{ホレ}。の^{ホレ}。塔^{ホレ}。に^{ホレ}。佛^{ホレ}。骨^{ホレ}。あ^{ホレ}。り。二十^{ホレ}。の^{ホレ}。一^{ホレ}。と^{ホレ}。い^{ホレ}。
 之^{ホレ}。を^{ホレ}。穿^{ホレ}。け^{ホレ}。り。必^{ホレ}。衆^{ホレ}。を^{ホレ}。い^{ホレ}。る。人^{ホレ}。民^{ホレ}。あ^{ホレ}。衆^{ホレ}。なり。お^{ホレ}。
 の^{ホレ}。用^{ホレ}。く^{ホレ}。毎^{ホレ}。の^{ホレ}。年^{ホレ}。は^{ホレ}。造^{ホレ}。り^{ホレ}。と^{ホレ}。い^{ホレ}。は^{ホレ}。り^{ホレ}。と^{ホレ}。
 邪^{ホレ}。信^{ホレ}。た^{ホレ}。君^{ホレ}。も^{ホレ}。あ^{ホレ}。け^{ホレ}。り^{ホレ}。に^{ホレ}。り。お^{ホレ}。や^{ホレ}。う^{ホレ}。て^{ホレ}。彼^{ホレ}。

ち^{ホレ}。の^{ホレ}。初^{ホレ}。使^{ホレ}。と^{ホレ}。下^{ホレ}。り。教^{ホレ}。め^{ホレ}。た^{ホレ}。法^{ホレ}。作^{ホレ}。と^{ホレ}。傳^{ホレ}。り。曰^{ホレ}。
 ナ^{ホレ}。四^{ホレ}。年^{ホレ}。の^{ホレ}。正^{ホレ}。月^{ホレ}。ハ。佛^{ホレ}。骨^{ホレ}。を^{ホレ}。禁^{ホレ}。中^{ホレ}。に^{ホレ}。追^{ホレ}。入^{ホレ}。ら^{ホレ}。せ^{ホレ}。
 そ^{ホレ}。の^{ホレ}。後^{ホレ}。之^{ホレ}。と^{ホレ}。あ^{ホレ}。る。と^{ホレ}。い^{ホレ}。は^{ホレ}。帝^{ホレ}。王^{ホレ}。あ^{ホレ}。け^{ホレ}。た^{ホレ}。り^{ホレ}。と^{ホレ}。ハ。
 コ^{ホレ}。ウ^{ホレ}。ケ^{ホレ}。イ^{ホレ}。タイ^{ホレ}。フ^{ホレ}。の^{ホレ}。下^{ホレ}。土^{ホレ}。民^{ホレ}。ハ。あ^{ホレ}。る。と^{ホレ}。い^{ホレ}。は^{ホレ}。金^{ホレ}。銀^{ホレ}。
 チ^{ホレ}。ン^{ホレ}。ホ^{ホレ}。ウ^{ホレ}。と^{ホレ}。授^{ホレ}。け^{ホレ}。り。賜^{ホレ}。物^{ホレ}。紙^{ホレ}。を^{ホレ}。い^{ホレ}。る。法^{ホレ}。の^{ホレ}。一^{ホレ}。人^{ホレ}。と^{ホレ}。
 初^{ホレ}。ハ。韓^{ホレ}。退^{ホレ}。之^{ホレ}。と^{ホレ}。い^{ホレ}。は^{ホレ}。貴^{ホレ}。臣^{ホレ}。佛^{ホレ}。骨^{ホレ}。表^{ホレ}。と^{ホレ}。い^{ホレ}。は^{ホレ}。と^{ホレ}。い^{ホレ}。
 て^{ホレ}。乃^{ホレ}。知^{ホレ}。を^{ホレ}。法^{ホレ}。の^{ホレ}。一^{ホレ}。人^{ホレ}。に^{ホレ}。い^{ホレ}。は^{ホレ}。る。そ^{ホレ}。の^{ホレ}。あ^{ホレ}。る。と^{ホレ}。い^{ホレ}。は^{ホレ}。法^{ホレ}。
 ハ。古^{ホレ}。れ^{ホレ}。聖^{ホレ}。賢^{ホレ}。伏^{ホレ}。犧^{ホレ}。神^{ホレ}。農^{ホレ}。其^{ホレ}。帝^{ホレ}。堯^{ホレ}。舜^{ホレ}。禹^{ホレ}。湯^{ホレ}。
 文^{ホレ}。武^{ホレ}。の^{ホレ}。君^{ホレ}。と^{ホレ}。始^{ホレ}。め^{ホレ}。は^{ホレ}。仁^{ホレ}。義^{ホレ}。の^{ホレ}。備^{ホレ}。の^{ホレ}。所^{ホレ}。と^{ホレ}。い^{ホレ}。

治元年チ代去ミコトリ。初ハジメて西セイ山サンに佛ブツを建タテて
 均ヒトくハナハタ甚シとみやり也。監カン察サツ所ショは觀カン音オン保ホ
 赤アカこコとト一イチ衆シュウ錢セン。且カウ耕サク化カの時トキは及およひ
 金ムヤク登エ代イ當サマ他タ賦フをツて民ミン力リキョクを費ツイしヤ
 多タくタリぬ改イるサメ。去キヨ代ダイとて保ホげメに。
 英エイ家カ甚シ怒イカリて監カン察サツ所ショは觀カン音オン保ホを教コさ
 去キヨ代ダイ之シ年チ初ハジメて金キン字ジに花ハナ經キョウをツて
 一イチじ。是コノ皆ミナ少シウく佛ブツ法ハフをカ成セウしテ佛ブツ
 所ショは去キヨ代ダイの月グヱツ御ギョ史シをタイ更フにテ藏ツ

失^{シツ}木^ラ魚^{セウ}。おぬ^{ニヤク}何^{ハイ}故^{チウ}殺^{コロ}し。遂^{ツイ}に葉^{エイ}宗^{ソウ}を亡^{コロ}殺^ス
しける。皇^{クハウ}叔^{シュク}駟^シ晋^{シン}王^{ワウ}故^コ立^リて天^{テン}子^ジとす。秦^{タイ}
定^{テイ}帝^{テイ}と号^{カウ}す。は帝^{テイ}も亦^{セン}帝^{テイ}の如^ニやむり
に致^{オラフ}く。少^{ショウ}く佛^{ブツ}法^フより故^コ傾^{カウ}けらる。故^チ
永^{エイ}年^{ネン}二^ニ月^{ゲツ}具^{コト}聖^{セイ}殿^{デン}ありて。無^ム量^{リヤウ}步^{ジュ}佛^{ブツ}の
戒^{カイ}を更^{ウテ}くせし。七月^{シチゲツ}は至^ニく俄^{ニガ}よりこゝろ
死^シなまするにあら。皆^{ミナ}少^{ショウ}く佛^{ブツ}法^フ故^コ好^{キタメ}む極^{キョク}
て殺^{タイ}れせし。人^{ジン}主^{シュ}なりし。かのくそ
終^{マカヒ}をよぐせしこと。凡^{ソウ}佛^{フツ}を少^{ショウ}く殺^{タイ}に

[illegible]

胡ケリて胡コは事コトはる大オホなる次オセキに符フ中チュウ華カと
 乱ミヤして。を禁キンと弛ユルるをくハ。中チュウの
 人ヒト偽イツとめり。乃ナ始ハジメるん。事物コトモノ他タる下カに。

尼
十八

^{ソウ}倭史略^ーといく。漢の帝とてふ劉俊^{リョウジン}ホ^シ
^ラゆるしてお家せ^ーじ。又洛陽^{ラクヤウ}の婦女^{フジョ}阿^ア潘^{ハン}
^ラおよゆるしてお家せ^ーじ。此^{コレ}中^{ナカ}玉^{タマ}れ女^メの尼^ニ
 とおの始也。

ソウ
ウ
レ
テ
ラ
偽
ち
十
九

尼寺 ニテラ
 二十

佛像

卷之五

を僞と。乞氏河の始也。事物紀原 僞史略に
云。康僞舍吳赤烏年中に後漢と云ふ
は僞史に属す。始也。

戒律 九五

僧史略に云。漢靈帝建寧三年。有。世
のめは義决律二ををり。次は五
禁律あり。魏の世。天竺の三藏曇摩
と云ふもの作洛より。魏の僞史律範を
とをり。遂に嘉平年中に。魏の
曇

歸と云れ。四分羯磨。及僞史戒心圖と
云。中。國戒律の始也。事物紀原
下曰

戒壇

僞史略に云。漢魏の時代。僞史。判發條文すとい
云。も。戒律の。三戒を
く。嘉平西元年中。子。魏の
と。大僞羯磨の法。乞氏河。五戒壇と云
は。始也。

受戒 九七

偽史略云。中國のちの戒を定む。魏の
朱士行よりし。

尼壇 九八

偽史略云。戒を定む。偽と尼壇を同
くせし。宋大祖。尼の偽中。に比る。故に
うそひ。これより始る。あは壇を偽る。宋初
會要云。開宝八年。宋大祖二月。召僧。令
より尼の度。合志。あは壇を偽る。宋初
して壇を起る。戒を定む。めよと命ぜり

れ。これより別。ニの文戒壇と云

尼受戒 九九

唐多。作資。偽云。宋元嘉十一年。
劉宋の文。昨子國。代尼。鉄索。建康。代南
林。ちの壇。とよ。かの。景福。と云。これ
尼。果。澤。多。戒。法。の。あ。は。壇。と云。中。心
の尼戒。と云。これより。あ。果。ふ。り。し。

禪法 三十

宣林。の。云。佛。涅槃。の。時。迦。葉。よ。若。て。回。若。

漢武帝元封二年。武帝南巡。至海上。見大禹之跡。乃封禪。又封泰山。後。武帝南巡。至海上。見大禹之跡。乃封禪。又封泰山。後。武帝南巡。至海上。見大禹之跡。乃封禪。又封泰山。

稱親 世一

命。晉。乃。道。也。業。氏。佛。圖。也。乃。く。

姓。ハ。氏。也。乃。あ。く。く。昨。ハ。佛。も。さ。る。

偽傳 世二

偽史。略。曰。偽。の。傳。ハ。魏。の。代。に。朱。也。乃。く。

尼傳 世三

偽史。略。曰。東。晉。廢。帝。大。和。二。年。乃。く。洛。陽。

よ返して。理味と研窮と。一方少室山を
已。は則。尼衛侯の始也。

偽僭 卅四

洪範集よ。後魏の太祖の時。は果平と。趙
胡靈とと僭と。は偽僭と賜ふの始也。

偽官 卅五

隋文帝。陝門。秦昭と。は。翻。経。録。の。子。士
と。是。始。て。偽。の。命。ど。り。を。い。く。と。

偽録 卅六

廣弘明集よ。後魏の太祖。皇始年。中よ。

少の法果を。い。く。統。と。て。偽。統。と。後。接
せ。む。文帝。昨。賢。と。い。く。偽。統。と。は。言

借録よ。後秦の姚萇。道碧と。立て。偽。心と
そ。秩。の。節。法。欽。慧。斌。偽。録。と。當。り。人。は。同。い

毛偽心偽録と。い。う。り。始。也。
捕。す。り。よ。偽。史。略。よ。え。偽。心。と。い。ふ。改。也。自

偽。心。と。い。ふ。人。と。い。う。て。改。令。と。い。う。あ。よ
偽。心。と。い。ふ。蓋。比。丘。の。法。の。さ。い。ふ。興。勃

偽号
卅七

あり。けに
大徳乃称あり。後趙乃石虎。佛

乃姤也。晉^シ此始^ニ，尅^ル廢^モ死^ラ矣^エ。東の旁
飛^キ燕^ク也。よ

此始也。果慧約ニ初テ云。允膺。商梨之屬。

二年、萬廻を号して、ハシクハイ代靈公と云。ガウ姚秦アレイコウの死ヨウシニ。

ソウ
偽
シ
糸
卅
八

傷史略といく。唐の則天皇后は、
胡大雲等と僞一符命、
皆長安を賜ふ。傷は、
皇后よりいふ。

中華事始卷之六 大尾

予嘗輯錄於和漢事始然而恐考
索之疎漏韞匱而藏諸今應童蒙
之求略加校正以授之尚刪其誤
補其闕俟他後之閑日云尔

元祿丙子之歲晚秋日貝原好古書

元祿十年夏五月

平安城書林

長尾平兵衛

水谷小兵衛

上島瀨平

大井七郎兵衛



全梓

